

8日開会された12月議会は、  
前日7日の議会全員協議会による  
議案説明、8日本会議、9日予  
算決算常任委員会の日程を終え、  
15日最終日を迎えます。

8日、9日の主な審議の概要を  
紹介します。

## 「あいさつかねて…」 委員会で町長言明

高校卒業予定学生の就職内定率  
が10月末59.6%であることに象徴  
(前年比15%減・落ち込み最大)さ  
れるように、景気の低迷、生活の不  
安が増大しています。西澤議員は8  
日本会議で、北川町政に変わったこ  
とによる補正予算での政策転換や

## 新町長就任後初の論戦

### 4議員が15日一般質問

15日(火)は9時開会。付託され  
た案件の採決などがあり、その後一  
般質問(9時半頃か?)。藤堂与三郎  
議員、濱野議員、金澤議員、西澤議  
員の順で行われる予定。西澤議員の  
一般質問は午後になる見通し。北川  
町長に変わって初めての定例会で注  
目されます。

## 傍聴にどうぞ

## 甲良民報

2009年12月13日 435号  
発行責任：日本共産党甲良町支部  
代表：西澤伸明 甲良町在土463  
Tel.Fax38-4949

# 雇用の確保なくして暮らしの安定なし

## 北川町長 「町民の雇用確保の努力を」要請の用意表明

追加の項目をただした際「予算のともな  
わない課題でも、例えばハローワークへ  
の要請や町内企業への派遣切り偽装請負  
の中止を求めるなどの要請」を提起しま  
した。

これに対して北川町長は日本経済が直  
面している現状にふれ「職安所長との懇  
談」を行なった事を明らかにし、「企業訪  
問」の用意があることも表明しました。

9日の予算決算常任委員会で西澤議員  
は、労働者全体の雇用が安定し、賃金の  
底上げが進んでこそ景気の回復につな  
がることであり、町内企業訪問に当たっ  
ては、町民の雇用確保とともに非正規から  
正社員化を求めることも大切だと提起し  
ました。

北川町長は、違法行為の是正や正規雇  
用の拡大には踏み込まなかったものの、  
就任あいさつもかねて町民の雇用の確保  
と派遣切りなどをしない企業努力を求め  
る方向を表明しました。

甲良町だけで労働法制が改正できる  
わけではありませんが、この答弁は企業へ  
の要請そのものを拒否した獅山彦根市長  
(本年3月彦根市議会・山田多津子議員  
の質問に答えて)と比較しても大変前向  
きな発言であり、貧困から抜け出そうと  
している労働者・町民をはげますものと

して西澤議員は率直に評価しまし  
た。

## ゴミ問題 「共同」の 名で自主性にぶらせる

火葬場の設置・管理運営の業務  
を行なっている「彦根犬上広域行政  
組合」の規約を一部改定する議案

この議案は共同で処理する事務  
に「新しいごみ処理施設の設置・管  
理運営に関する事務」を追加。この  
関係市町を「彦根市・愛荘町・豊郷  
町・甲良町・多賀町」とし、名称変  
更、広域組合の事務所を豊栄の里  
(豊郷町)に移転することなどを盛り  
込んだものです。さらに、西澤議  
員の質問で、広域組合に設置されて  
いる議会の彦根市から選出される  
議員の定数(愛荘3、豊郷2、甲良  
2、多賀2)合計よりも「1」多く  
設定されているのは「従来から彦根  
市の意向を受けたもの」であること  
が判明しました。

西澤議員は次の理由で反対討論  
に立ちました。

ゴミ問題は住民と行政にとっ  
て最も身近な課題であり、悩みの  
種。加盟自治体の固有の現状、独自

の判断が尊重されねばならない。しか  
し、曾根沼地先に計画した「ゴミ広域  
化処理施設」で(以前から軟弱地盤が  
指摘されていたにもかかわらず)獅山  
市長も「地質を調べるボーリング調査  
は候補地にする前に行なうべきであ  
った」と言わざるを得なかったほど、  
首長も議会も冷静な判断ができず  
(「軟弱地盤でいいのか」という)論  
議もできていなかった事を示すもの。  
独自判断をにぶらせる。

彦根市の提起に従うということが  
議会定数の根っこにある。加盟自治  
体は対等平等で、道理と納得を通じて  
すすめるという自主自立の精神に背  
き、初めから「彦根市優先」が設定  
されていることは容認できない。

採決では、西澤議員の他、藤堂与三  
郎議員、宮寄議員が反対しました。

